

---

平成25年度  
事業計画書

I. 事業計画	88
II. 教育研究計画	90
III. 管理運営計画	96
IV. 財務計画	102
V. 平成25年度跡見学園収支予算について	104

## I. 事業計画

国の債務残高は、平成25年度末には1,100兆円を超える見通しとなっています。貿易収支の大幅な赤字が続いて、経常収支の改善も見通しが立たないなかで、昨年12月に発足した第2次安倍内閣が打ち出した「アベノミクス」は、円安・株高を招来して景気回復の兆しを彼方に描いて見せていますが、間近に消費税増税や内外からの失速懸念もあって、まだ足もとの実体経済の行方は不透明のままです。家計の所得が増え貯蓄率が改善に転じない限り、私学の経営を取り巻く環境もまた、その厳しさは変わりません。

18歳人口の減少のなかであって、これまで大学進学率が向上してきたのは、グローバル化によって製造業が海外に移転し、高卒者が就職できずに行き場を失い、その結果、借金（有利子奨学金の受給）をして大学に進学してきたことによるものです。日本学生支援機構によれば、その大学学部学生の割合は40%にも達しようとしています。大学が提供する教育内容は、借金をしてまで受ける価値があるのか、厳しい目にさらされています。

一方、日本私立学校振興・共済事業団の平成23年度決算集計調査によると、学校法人が過去に蓄積してきた預金等の資産状況は、平成14年度以降、増加する要積立額（退職給与引当金、第2号基本金、第3号基本金、減価償却累計額の総計）に対し、預金等の資産確保が追いつかなくなっており、不足額は年々増加の一途をたどっています。

また、学校法人の経営状態を示す消費収支を見ると、健全な経営には10%以上必要とされる帰属収支差額比率については、帰属収入で消費支出が賄えない帰属収支差額比率0%未満の学校法人の割合が41.8%（226/541法人）、△20%未満では10.0%（54法人）に上っています。このマイナス分を預金等の蓄積（自己資金）を取り崩して補う状況がこのまま続けば、施設・設備等の建替えなどができなくなって老朽化が進み、やがて教育活動にも支障が生じる可能性があります。

このような厳しい二極化が進む経営環境の中であって、学園が置かれている立場も、決して恵まれたポジションを占めているとは言えません。多様化する生徒・学生や保護者の教育ニーズに応え、学修を支援していくためには、これまで学園を支えてきた健全な財務基盤をより強固なものにしつつ、改革の確実な歩みを止めないということが、この厳しい環境に耐える上で最も肝要であると考えております。

このような基本認識を踏まえ、平成25年度の事業計画の柱については、次の項目を掲げることといたしました。

### I. 基本的な事項

- ① 伝統ある跡見が今後とも存在意義の高い私立学校として生き残っていくためには、ステークホルダーの目線に立った教育の質的向上が不可欠であることから、それを経営面から支える確固とした財務基盤の確立を目指す。
- ② 大学都心回帰の潮流や首都圏の人口動態も視野に、平成27年度に創立50年を迎える大学の新座キャンパス及び文京キャンパスの再整備について、総合的な検討を行う。
- ③ 大学規模の拡充及び教育組織の再編の観点から、21世紀社会の動きを勘案しつつ、女性のために、どのような教育分野に立つ新学部・学科が跡見に必要な検討し、具体化を図る。
- ④ 生徒のモチベーション向上を目指した教育内容の充実を図り、中学入試や大学進学の実績向上に確実に結びつけていく。
- ⑤ 教育の質的向上に向けた取組み、研究の成果及び財務の情報を系統的に整備し、外部に分かり易く発信する。
- ⑥ 事務組織を再点検し、教職協働も視野に学園発展を支えるべく職員の能動力と連携力を最大限に発揮させる。
- ⑦ 事業について、コンプライアンスとアカウンタビリティに則った運営に努める。

## II. 具体的な課題

- ① 事業計画（目的）別予算編成に基づいた経費節減に努め、引き続き収支均衡を図る。
- ② 文京キャンパスの拡充に向けて取り組むべき課題を抽出し、具体的な対応策を検討する。
- ③ 平成27年度に向けた新たな教育課程の再構築について、確実に準備を進める。
- ④ 学園140周年、大学50周年の記念事業について、具体的な検討に着手する。
- ⑤ 「入口」の中学偏差値向上及び「出口」の難関大学入試合格力の向上を図るため、校長のリーダーシップのもとに学校運営会議を新設し、中学高校の教員組織、事務組織、入試・広報体制等の校務改革に取り組む。
- ⑥ 大学及び中学高校の各教育段階において、国際交流の充実と深化を図る。
- ⑦ 東京都交通局から賃借した「茗荷谷交通ビル」を活用し、地元へのより深い浸透を図るとともに、新しいスタイルの広報を展開する。
- ⑧ 現在の学生寮（新座市）に代わる新しい学生寮の設置について、具体的な検討に入る。
- ⑨ リニューアルされたホームページの運用を通じてデータ解析を行い、その結果をリアルタイムで広報に活用する。
- ⑩ 職員評価の精度を高め、大学基準協会が設定する目標とリンクした経営評価指標の改善と職員育成とを一体的に進めるとともに、拡大課長会議を通じて、事務管理職の使命の再認識を深める。

以上の事業を確実に遂行するためには、高い財務規律に裏打ちされた強固な財務基盤に立って着実に準備を進めて行かなければなりません。学園の将来の発展を確実なものとし、学園が不動の「選ばれる私学」たり続けるため、引き続き、関係各位のなご一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## Ⅱ. 教育研究計画

### 【女子大学】

「大学改革実行プラン」(平成24年6月、文部科学省)は、社会の急激な変化を踏まえ、大学改革を強力に推進することを求めた。そこで求められているグローバル化に対応した人材育成、地域再生の核となる大学づくり(Center of Community)、研究力強化、ガバナンスの充実・強化は、本学として前向きに取り組まねばならない課題である。

これらの課題を踏まえて、女子大学は新座・文京デュアルキャンパスをさらに合理的なシステムへと転換することを展望しつつ、新しい教育課程の構想を具体化する。

#### I. 教育研究

##### 1. 学部等の改革

- ① 平成22年度設置学科における完成年度
- ② 平成27年度に向けた新たな教育課程の準備  
既存学部学科教育課程の検討  
新学部新学科構想の策定

##### 2. 諸規定の点検・整備

##### 3. カリキュラムの点検

##### 4. 教育研究支援

- ① 教員評価結果の検証
- ② 教育研究体制の充実
- ③ FD活動の継続実施
- ④ 学外研究費の獲得
- ⑤ 国際交流の充実(国際交流課の設置)

##### 5. 学生支援

- ① 各種奨学金(一紫会、後援会による奨学金)
- ② 就職支援体制の全学的取り組み

##### 6. ステークホルダーとしての保護者サービス

- ① 保護者対象大学説明会の実施(6年目)
- ② 学生の単位修得状況の通知

##### 7. 学園140周年、大学50周年記念行事の準備

- ① 大学50周年史の刊行準備(50周年史編集準備室の設置)

#### Ⅱ. 管理・運営

##### 1. 大学管理・運営の点検・整備

##### 2. 事務組織の点検に基づく将来構想

#### Ⅲ. 施設設備

##### 1. デュアルキャンパスの再検討

#### Ⅳ. 広報・学生募集

1. 学部学科理念の確認
2. 入学試験制度の再検討
3. 「茗荷谷交通ビル」の活用

## V. 学外団体との交流

### 1. 国内

- ① マネジメント研究科と立教大学21世紀社会デザイン研究科との交流
- ② 文京区内大学との交流
- ③ 埼玉県内大学との交流
- ④ 彩の国大学コンソーシアム
- ⑤ 高等学校との交流

### 2. 国外

- ① 夏期語学研修による海外の大学との交流およびその深化
- ② 上記以外の海外の大学との交流開拓

## VI. 地域との交流・地域貢献

### 1. 文京区との提携

- ① 災害時における協力
- ② 生涯学習への協力
- ③ 「茗荷谷交通ビル」に心理教育相談所分室の設置

### 2. 新座市との提携

### 3. 和光市との提携

### 4. 会津若松市との提携

## VII. 点検評価

1. 大学基準協会による評価に基づく改善
2. 平成27年度大学評価に対する準備作業の着手

## 【中学校高等学校】

### <基本方針>

学祖の目指した女性としての自律し自立するための知、情、意のバランスのとれた発達による全人教育を中高一貫教育の教育システムの中で実践する。

### <教育目標>

上記の目的達成のため以下の教育目標を掲げる。

#### 1 生活指導面

中学生：基本的生活習慣の確立と自己分析（集団の中における自己の役割・個性）

高校生：個性を伸張させる仲間との連携と人生計画

#### 2 学習指導面

中学生：学習に向き合う姿勢の継続と基礎学力の育成

高校生：自己の進路目的に向けた学習応用力の養成

### <教育方針>

#### 総論

平成25年度は、24年度事業計画を継続しつつ、特に教育目標達成のために学校運営の可視化と、説明責任を果たすことのできる内実を作り、そのための業務を構築する。また、自己点検・自己評価や、さまざまなレベルにおける外部との交流を通し、外部評価を導入する。

## 各論

### 1 組織

#### ①教員組織の見直し

- ・校長・副校長・校務部長という命令系統を明確にし、校務部長の下に各部署主任を置く。
- ・教科主任は、校長が任命する。
- ・カウンセリングルームは保健室から離し、校務部長の下に置く。
- ・庶務課は校務部長の下に置く。
- ・新たに「国際交流」という部署を置く。
- ・「視聴覚」の名称を「情報管理」に改める。
- ・「入試広報」を「入試・広報」に改め、入試業務全般の責任を負う。
- ・教科主任は、教務主任の下に置く。
- ・学年主任は、教務主任・生徒指導主任・進路指導主任の下に置く。

#### ②各種会議の機能の見直し

- ・新たに「学校運営会議」を設け、商議員・学年主任・教科主任は協力して学校運営にあたる。
- ・学年主任会議・教科主任会議は必要に応じて開催する。

#### ③規定類の点検、整備

- ・教員組織見直しに伴う規定の見直しをする。
- ・内規と学園規定に齟齬が生じないようにする。

### 2 運営

#### ①業務要綱の整備

- ・各部署で作成している業務内容を集約し、マニュアルを作成する。
- ・個人の経験に依存している業務をマニュアル化する。

#### ②事務組織の立て直し

- ・庶務と入試・広報の業務区分を明確にする。
- ・会計・経理は原則として教員は関わらず、事務職が行う。

#### ③会議のあり方

- ・商議会・学校運営会議・教員会議・教職員会議・学年主任会議・教科主任会議等すべての会議に書記を置き、記録を保管する。
- ・必要に応じて会議録は公開する。
- ・商議会・学校運営会議・教員会議・教職員会議の書記は、事務職が行う。
- ・学年主任会議・教科主任会議は、会議録を校長宛に提出する。

### 3 事務

#### ①学校汎用システムの導入

- ・入試
- ・校務全般

#### ②業務の平準化

- ・書式の統一
- ・他機関との整合性

### 4 教育

平成24年度事業を継続しつつ、新規事業を立案計画

#### ①進学支援の充実

- ・7限目プロジェクト（中学補習・英会話クラス・英語特別クラス・難関大学受験クラス）を充実させ

る。

- ・勉強合宿等を体系化する。
- ・勉強の習慣づけと勉強への意欲を高める。

#### ②国際交流の充実

- ・海外語学研修の機会を増やす。
- ・海外語学研修の事前・事後の活動を充実させる。
- ・St Rita's Collegeとの姉妹校提携をする。
- ・St Rita's College生徒の短期受け入れをする。

#### ③教員研修（学外・学内）の整備

- ・授業公開・参観を増やす。
- ・研究会を積極的に行う。
- ・教員交流を積極的に行う。

#### ④課外活動に関わるあり方の再検討

- ・安全性の確保
- ・顧問とコーチの分業
- ・顧問のローテーション
- ・コーチの補強

### 5 災害対応の徹底

- ・直下型地震への対応
- ・女子大学との連携

### 6 入試・広報

#### ①内部体制の強化

- ・入試・広報組織の改革

入試・広報主任以下、説明会、塾学校訪問、広報誌ホームページ、入学試験をそれぞれ担当制とし、責任所在を明確化するとともに内部体制の盤石化を図る。

- ・跡見学園の現状把握

入試後のアンケート調査（入学者、辞退者、棄権者、学校説明会参加者）の実施

- ・エリア調査の実施

在校生の通学エリアマップの作成

- ・入試業務の見直し

○いくつかの部門に分かれていた入試業務を入試・広報部門が統括

○どの担当者でも操作可能な入試システムの構築

- ・入試問題の見直し

入試問題の抜本的見直し（中学入試問題作成委員会、中学入試企画委員会と連携）

#### ②広報活動の強化

- ・塾訪問の強化

○大手塾、跡見学園への合格率が高い塾を中心に塾回りを強化

○前項①のマップに基づき、鉄道、バス路線を見直し広報エリア拡大

- ・具体的な売りを明確化

進学実績と魅力ある女子校の二本柱を明確化

<広報に使用するパンフレット類の作成>

○学校案内（学校HPと連携）

○進路ガイドブックVol.2

- ミニガイドブック（受験生用）
- 関係雑誌掲載記事のちらし使用
- ・受験生・保護者に対する直接的な広報の強化
  - 受験生参加型の説明会
  - 保護者への説明会
  - OGの活用
  - 葉書作戦の継続
  - 体験授業の充実化（回数、質）
- ・ホームページのリニューアル
  - ホームページの構造の見直し
  - コンテンツ・マネジメント・システム（CMS）の導入
  - アクセス状況などの情報解析の実施

### ③学校説明会日程表（予定）

#### ・外部主催

4月29日（祝）	女子校アンサンブル	学習院女子大学
5月11日（土）	東京私立中学合同相談会	東京国際フォーラム
5月19日（日）	ベネッセ進学フェア	東京国際フォーラム
6月2日（日）	市進ウイングネット・市進学院合同相談会	秋葉原UDX
6月15日（土）	上野松坂屋・私立中高進学相談会	上野松坂屋
6月16日（日）	受験なんでも相談会	新宿NSビル
6月23日（日）	文京区私立中学高等学校連合進学説明会	秋葉原UDX
6月30日（日）	日能研 私学フェア	学習院大+慶大日吉
7月27日（土）	JOBA海外帰国子女進学相談会	ベルサール六本木
7月（予定）	帰国子女相談会	実践女子学園
7月（予定）	帰国生のための学校説明会・相談会	青少年総合センター
8月17日（土）	東京私立学校展	東京国際フォーラム
8月18日（日）	東京私立学校展	東京国際フォーラム
9月8日（日）	TOMAS受験相談会	新宿NSビル
10月20日（日）	池袋進学相談会	池袋サンシャイン

#### ・本校主催

5月25日（土）	ミニ説明会・なんでも相談会 ミニ体験授業	13：00～15：00
6月8日（土）	ミニ説明会・なんでも相談会 ミニ体験授業	13：00～15：00
6月10日（月）	塾の先生対象	10：30～12：20
6月22日（土）	小学生・保護者対象学校説明会① クラブ見学会	13：00～14：30 14：30～16：00
6月29日（土）	ミニ説明会・なんでも相談会 ミニ体験授業	13：00～15：00
7月6日（土）	小学生・保護者対象学校説明会②	10：30～12：20
7月13日（土）	ミニ説明会・なんでも相談会 ミニ体験授業	13：00～15：00
9月14日（土）	保護者対象（文化祭）	9：00～16：00
9月15日（日）	保護者対象（文化祭）	9：00～16：00
9月21日（土）	ミニ説明会・なんでも相談会	13：00～15：00

---

	ミニ体験授業	
9月27日(金)	小学生・保護者対象学校説明会③	18:00~
10月5日(土)	ミニ説明会・なんでも相談会	13:00~15:00
	ミニ体験授業	
10月26日(土)	ミニ説明会・なんでも相談会	13:00~15:00
	ミニ体験授業	
11月9日(土)	小学生・保護者対象学校説明会④	10:30~12:20
11月16日(土)	小学生対象 体験授業	14:00~16:00
11月22日(金)	ミニ説明会・なんでも相談会	13:00~15:00
	ミニ体験授業	
11月30日(土)	シンポジウム My Life	14:00~15:30
12月7日(土)	小学生・保護者対象学校説明会⑤	10:30~12:20
・本校における各塾主催		
5月(予定)	SAPIX主催学校説明会	
5月(予定)	市進学院主催学校説明会	
6月(予定)	早稲田アカデミー主催学校説明会	
6月(予定)	栄光ゼミナール主催学校説明会	
6月(予定)	TOMAS主催学校説明会	
6月(予定)	四谷大塚主催学校説明会	
7月14日(日)	四谷大塚 含 模擬試験会場	
10月13日(日)	四谷大塚 含 模擬試験会場	
10月頃(予定)	日能研 含 模擬試験会場	

## Ⅲ. 管理運営計画

### 【ガバナンス】

学園のガバナンスを高めるため、次の会議等を設置する。権限、責任、監視体制を明確にし、学園全体の経営力強化、経営資源の拡充などに取り組む。

#### 1. 理事会・評議員会 日程及び議案

平成25年 5月21日	第366回理事会、第318回評議員会 議案：平成24年度跡見学園事業実績に関する件 平成24年度跡見学園収支決算報告に関する件
平成25年10月22日	第319回評議員会、第367回理事会 議案：平成25年度跡見学園収支補正予算に関する件
平成26年 3月25日	第320回評議員会、第368回理事会 議案：平成26年度跡見学園事業計画に関する件 平成26年度跡見学園収入支出予算案に関する件

※すべての会議に監事が出席する。

#### 2. 常務理事会

常務理事会は理事長を補佐するため、理事長及び常務理事を構成員とし、人事、労務、財務及び教育計画並びに将来構想その他理事長が必要と認める重要事項を審議する。平成25年度は原則月2回（木曜日）計21回の開催を予定している。

#### 3. 経営会議

経営会議は理事会及び評議員会における重要事項の審議及び経営方針、教育計画に関する企画・立案等について総合調整し、又は常務理事会の諮問に応ずることを目的とし、理事会の下に設置された合議制の機関であり、理事長、常務理事、事業理事及び各機関の長並びに女子大学副学長、中学校高等学校副校長及び第2条第1号理事をもって構成する。原則、毎週火曜日に法人事務局にて開催される。平成25年度は計37回の開催を予定している。

#### 4. 理事長、顧問、常務理事、監事、公認会計士との意見交換会

公認会計士による会計監査（年22回実施）の結果について、相互の連携強化を深めるため意見交換会を、年2回、実施している。公認会計士からの指摘事項について、理事長、公認会計士、顧問、常務理事、監事で協議する機会となっている。期末監査実施時期の5月中旬及び1月を予定している。

### 【自己点検・評価（経営評価指標等）】

学園は、建学の精神を実践し、その目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動、管理運営等の状況について、自己点検及び評価を行い、その結果を踏まえ、不断の改善に努めている。

#### 1. 自己点検・評価の実施（女子大学関係）（事業費：2,346千円 実施：適宜）

女子大学においては平成23年度より日本能率協会が提供する「自己点検・評価マネジメントシステム」を導入している。これは大学基準協会の評価指標に対応した大学経営評価指標を活用するシステムで、データを継続的に蓄積していきながら自己点検・評価に活用するのが目的である。経年の業務数値を蓄積するとともに、平成25年度は導入以来未実施の学生・教職員に対するアンケートを実施して指標項目を埋め、各データを更に比較・分析できるようにすることを目標とする。

#### 2. 学校評価アンケートの実施（中学高校関係）（事業費：2,618千円 実施：年度末）

中学校高等学校においても平成23年度より文部科学省の学校評価ガイドラインの分類項目（指標・視点）

にリンクした評価項目を持った、学校経営研究所が提供する「SiANシステム」(学校改善アセスメントネットワークシステムSchool improvement Assessment Network)を導入し、保護者・生徒・教員に学校評価アンケートを実施して自己点検評価を行っている。平成25年度においても継続してこのシステムを利用して自己点検評価を行っていくが、Webによるアンケート入力件数を昨年度より増やしていくことを目標とする。

### 【情報公開（HP上の公開状況等）】

学園は、学生生徒、卒業生、学費負担者、事業関係者、その他一般市民の理解と協力を深め、学園の開かれた公正な運営に資するために、平成25年度も、学園の概要、当該年度の事業概要、教育研究の概要、管理運営の概要、その他特徴ある取り組み概要、財務の概要等を、主に学園ホームページを通して、積極的に情報公開する。

#### 1. Webサイト上での情報公開、Webサイトの充実（事業費：2,500千円 実施：適宜）

平成17年度以降の学園の事業計画・事業報告を継続的にウェブサイトに掲載して積極的に情報公開しているが、平成25年度は現在PDFデータでのみ公開されている財務情報をWeb用に編集し直して閲覧しやすくするなど、サイト上に公開されている情報を、探しやすく見易い状態にすることを目標とする。

また、平成25年4月にリニューアルする3機関（大学・中高・法人）のWebサイトを、アクセスログ解析や分析をすることにより、より閲覧者が増えるよう充実したサイトへと改良させていくことを目標とする。

### 【施設環境の整備】

#### ◎女子大学関係

\*女子大学関係のなかで「新)」は新座キャンパス、「文)」は文京キャンパスを示す。

(単位：千円)

機関	事業項目・内容	事業費	実施時期
大 学	新) 仮設校舎の設置 平成18年度の新学科増くコミュニケーション文化学科及び生活環境マネジメント学科)に伴う学生数増加に対応するため、体育館脇駐車場に100名程度収容できる仮設教室3教室を3年リースで設置したが、今後も本仮設教室利用が見込まれるため、設置を継続する。(仮設教室：1号棟360.72㎡、2号棟180.36㎡)	4,720	年間リース料
	新) 2号館照明改修工事 機器の設置から20年が経過し、劣化が見られるため、改修工事を行う。	17,700	8・9月
	文) 1号館裏擁壁改修工事 擁壁の老朽化により、改修工事を行う。	4,830	4月
	新) 車両更新（作業用軽トラック） 車両の老朽化による更新を行う。	795	4月
	新) 体育館舞台吊物設備更新工事 機器の製造から29年が経過し、劣化が見られるため、改修工事を行う。	14,650	8月
	文) 3号館天井付バスケットゴール撤去 非構造部材の耐震対策のため、天井付バスケットゴールの撤去を行う。	1,617	4月
	新) 体育館天井照明器具点検 非構造部材の耐震対策のため、天井照明器具の点検を行う。	1,638	4月
	茗荷谷交通ビル賃借料 茗荷谷交通ビルの定期建物賃貸借契約による年間費用。	16,200	年間賃借料

## ◎中学校高等学校関係

(単位：千円)

機関	事業項目	事業費	実施時期
中 高	空調設備改修工事（第2期） 設置後23年が経過し、経年劣化によるトラブルが発生する可能性があるため、改修工事を行う。	57,300	8月
	校舎外壁・屋上防水改修工事（B工区） 外壁及び防水層の経年劣化により、改修工事を行う。	69,930	8月
	電気時計更新（親・子） 経年劣化により、更新を行う。	2,300	4月
	洋式トイレ化改修工事 和式トイレを洋式トイレに改修を行う。	16,620	8月

## ◎北軽井沢研修所関係

(単位：千円)

機関	事業項目	事業費	実施時期
北軽井沢 研修所	地下室換気設備改修工事 地下室の結露防止のため、換気設備の改修を行う。	2,000	7月

## 【情報環境の整備】

## ◎女子大学関係

(単位：千円)

機関	事業項目	事業費	実施時期
大 学	文) 2号館印刷機更新 リース期間満了に伴い、機器を更新する。	4,799	8月
	新) 図書館利用者用複合機更新 リース期間満了に伴い、機器を更新する。	1,159	8月
	新) 3号館テレビ会議システム更新 リース期間満了に伴い、機器を更新する。	3,758	8月
	新) 出席管理システム更新 リース期間満了に伴い、機器を更新する。	5,352	8月

## ◎中学高等学校関係

(単位：千円)

機関	事業項目	事業費	実施時期
中 高	掲示板システム更新 経年劣化により、更新を行う。	3,858	8月
	LL・PC教室機器更新 リース期間満了に伴い、機器を更新する。	52,864	8月
	図書館システムソフトウェア更新 リース期間満了に伴い、機器を更新する。	6,594	8月
	教材作成システム更新 リース期間満了に伴い、機器を更新する。	2,292	8月
	複合機更新（3台） リース期間満了に伴い、機器を更新する。	2,961	8月

## ◎法人事務局関係

(単位：千円)

機関	事業項目	事業費	実施時期
法人	マイクロソフト包括ライセンス契約 管理コスト削減のため、現状のライセンス形態を見直す。	4,021	1月
	クライアントPC更新 リース期間満了に伴い、機器を更新する。	6,327	12月
	データセンターラック提供サービス（1本）追加設置 24年度に多数のサーバを移設したデータセンターには、現在2本のラックを借りてサーバを設置しているが、今後さらなるサーバ移設を進めるため、現在契約中のラックの隣に1本追加設置する。	2,541	年間リース料

## 【広報活動】

<b>① 学園情報誌『Blossom』（35号、36号）の発行</b>	
学園の最新情報・現在の活動をお知らせするために、学園情報誌『Blossom』35号（2013年7月号）、36号（2014年1月号）を発行する。本年度については、従来の内容や形式にとらわれない、読者目線によるより大胆な内容・構成のものを制作する。	事業費：17,690千円 実施：7月・1月
<b>② 校友会へのメールマガジンの配信</b>	
平成13年度より卒業生を対象に、学園情報・校友からの情報を盛り込んだメールマガジン「あとみネット」を配信しているが、平成25年度も継続して学園で行われるイベント開催情報やお知らせを積極的に配信して、学園に対する興味を喚起させることを目標とする。	事業費：2,287千円 実施：システム利用料等
<b>③ 交通広告等による学園広報</b>	
広報委員会としては、平成24年度の東横線・副都心線の乗り入れ(平成25年3月16日)を意識したキー・ビジュアルに基づく学園広報を、平成20年より継続して展開してきたが、その東上線～副都心線～東横線の1本化の完成を受けて、平成25年度は従来の広告の掲出場所・手段・手法を再点検するとともに、学園ならびに大学の周年事業のメディア露出開始の可能性も念頭に置きながら、より効果的な学園広報を展開する。	事業費：13,024千円 実施：年間、7月、年未年始、その他適宜
<b>④ 駅看板等による学園広報</b>	
前年度に引き続き、駅広告として、「跡見学園」の看板を、東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅、東京メトロ有楽町線護国寺駅、東京メトロ副都心線渋谷駅に掲出する。また、「跡見学園女子大学」の看板を、JR武蔵野線北朝霞駅、新座駅、新松戸駅、西国分寺駅、武蔵浦和駅、新秋津駅、JR総武線西船橋駅、JR京浜東北線南浦和駅、JR中央線御茶ノ水駅、東武東上線志木駅に継続掲出する。更に、東京メトロ有楽町線護国寺駅には、学園への誘導案内として、ナビタ（駅周辺案内図）と消火栓広告を掲出する。文京キャンパスの設置に伴い、新座（志木）から茗荷谷へと学生の流れが変わってきているので、平成25年度は駅広告も文京キャンパスを意識した掲出場所を検討する。	事業費：12,068千円 実施：年間、適宜
<b>⑤ 学園グッズ制作</b>	
広報委員会としては、平成25年度も、受験対象者となるステークホルダー（小学生、女子高生、保護者等）の目線を意識した、かつ、跡見ならではの、より差別化された効果的な学園グッズを制作する。従来から制作し評判のミニティアやあぶら取り紙、消えるマーカー等の文房具による展開の他、新たに「Atomi's」というペットボトルの水の制作を考えている。また、受験生だけではなく、地域連携や産学連携等に必要な学園グッズについても視野に入れて展開する。	事業費：9,574千円 実施：適宜
<b>⑥ 「評判づくり研究会」への参画</b>	
ブランド戦略・PR戦略を学ぶために平成25年度も継続して「評判づくり研究会」に参画し、当研究会が主催するセミナー等に参加して将来構想に役立てる。	事業費：50千円 実施：年会費

## 【収益事業】

### 1. 事業概要

平成24年度から、収益事業部（以下「事業部」という。）の職員は、専任職員1名（前年度までは2名）と派遣職員1名、アルバイト職員1名の計3名の構成となった。平成25年度も同じ人員構成としている。

平成23年度から音羽駐車場は、(株)トヨタエンタプライズ（トヨタ自動車系子会社）に賃貸され、時間貸しの駐車場となった。年間賃料が19,920千円（月間1,660千円、税込）となったことで、事業部の年間経常収入35,060千円の約56%を占め、収益事業の経営の安定には大きく貢献している。

駐車場以外の事業部の主たる業務は、中学校の学用品（教科書・副教材等その他指定用品）の販売が中心であり、年毎の売上差はあまり大きくはない。

平成25年度は、副教材の売上減や学校の校費にかかる内部取引に伴う書籍売上減等により経常収入が35,060千円（前年度比1,430千円減）、及び定昇やアルバイトの実績による人件費増等により経常支出が23,596千円（前年度比900千円増）となり、経常利益は11,464千円（前年度比2,330千円減）の黒字を見込んでいる。

#### <事業部の年間業務>

- 4月 新学期販売準備（上履、校庭履、指定用品等）
  - 中・高生教科書販売
  - ランチ販売
  - 団体保険、損害保険代理店業務
  - 駐車場賃貸
- 5月 中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売、幹事会・父母会等飲料水販売  
収益事業決算
- 7月 中・高生夏期講習用テキスト販売  
中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売
- 8月 夏期休業
- 9月 中・高生新年度用教科書・教材問合せ準備  
中学校・高校体育祭飲料水販売  
中学校・高校文化祭飲料水・入試問題集・グッズ等販売
- 10月 中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売  
中学校新入生用学用品発注
- 11月 中・高生新学期用教科書入荷  
中・高生用副教材発注準備・教師用指導書発注  
中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売
- 12月 中・高生新学期用教科書入荷  
中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売  
中学校帰国生入試関係準備
- 1月 中・高在校生教科書副教材申込・集計等  
中・高生新学期用副教材の発注
- 2月 中学校新入生副教材・学用品販売
- 3月 中・高在校生教科書・副教材販売（2月下旬から3月上旬）  
中学校・高校卒業式飲料水等販売  
中・高生新学期用物品等準備  
棚卸し（月末）  
予算編成

## 2. 予算概要

平成25年度収益事業予算書  
(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増・△減
経常収入			
商品売上収入(*)	6,500,000	6,500,000	0
書籍売上収入(*)	3,500,000	4,500,000	△1,000,000
生保取扱手数料	150,000	150,000	0
損保取扱手数料	550,000	800,000	△250,000
駐車場賃貸料収入	19,920,000	1,992,000	0
不動産賃貸料収入	3,240,000	3,220,000	20,000
雑収入	1,200,000	1,400,000	△200,000
経常収入 計	35,060,000	36,490,000	△1,430,000
経常支出			
人件費	12,600,000	12,000,000	600,000
委託管理費	996,000	996,000	0
減価償却費	0	0	0
租税公課	6,000,000	6,200,000	△200,000
諸経費	4,000,000	3,500,000	500,000
経常支出 計	23,596,000	22,696,000	900,000
経常利益	11,464,000	13,794,000	△2,330,000
当期純利益	11,464,000	13,794,000	△2,330,000

(\*) 売上高－売上原価

## IV.財務計画

### 1. 平成25年度予算編成の概要

平成25年度予算編成にあたっては、収支均衡を図ることを基本方針とし、女子大学及び中学高等学校へ前年度比5%減（研究費、学術図書出版助成費、後援会予算等を除く）による予算編成を依頼した。

また、特別予算については、当初555,696千円規模の事業計画の申請があったところであるが、平成25年度消費支出超過額を50,000千円以内とした収支均衡を図るべく、申請事業計画の年度内前倒し実施及び事業計画の先送りにより、310,656千円規模の事業計画とした。

### 2. 資金収支予算書の概要

25年度の収入の部合計は、24年度より1,123,817千円減となっている。一方、25年度の当年度資金支出も、24年度予算額に対して減額となっているが、減額幅が、1,156,390千円となるため、次年度繰越支払資金は、32,573千円増の6,849,032千円となる。

資金収入減の主な要因は、前年度繰越支払資金を24年度次年度繰越支払資金の補正予算額に合わせ、871,946千円の減額となったことによるものである。当年度資金支出減の主な要因は、平成25年度予算編成時における前年度比5%減による教育研究経費支出が5,125千円、管理経費支出が66,975千円の減額、さらには施設関係支出が642,076千円、設備関係支出が179,742千円、資産運用支出が300,000千円の減額となったことによるものである。

#### ◇資金収支予算の前年度比較

(単位：千円)

科 目	25年度予算額	24年度予算額	増・△減
収入の部合計	13,581,195	14,705,012	△1,123,817
当年度資金収入	6,764,736	7,016,607	△251,871
前年度繰越支払資金	6,816,459	7,688,405	△871,946
支出の部合計	13,581,195	14,705,012	△1,123,817
当年度資金支出	6,732,163	7,888,553	△1,156,390
次年度繰越支払資金 (前受金を除く次年度繰越支払資金)	6,849,032 (5,543,283)	6,816,459 (5,510,210)	32,573 (33,073)

### 3. 消費収支予算書の概要

帰属収入は、学生生徒等納付金が増額となる一方、手数料、寄付金、補助金、資産運用収入、事業収入、雑収入が減額となるため、24年度予算額に対して136,017千円の減の6,705,177千円である。また、基本金組入額は24年度予算に対して753,413千円減額となるため、消費収入は617,396千円増の6,490,138千円となる。

一方、消費支出については、人件費、教育研究経費が増額となる一方、管理経費、資産処分差額の減額により、1,202千円減の6,535,223千円となる。この結果、25年度の消費収支は、予備費50,000千円の枠内に収まる45,085千円の支出超過となる。

また、前年度繰越消費支出超過額は、24年度の翌年度繰越消費支出超過額の補正予算額に合わせた4,212,584千円となる。当年度における翌年度繰越消費支出超過額の合計は、当年度消費支出超過額に前年度繰越消費支出超過額を加えた4,257,669千円となる。

## ◇消費収入予算の前年度比較

(単位：千円)

科 目	25年度予算額	24年度予算額	増・△減
帰属収入合計	6,705,177	6,841,194	△136,017
基本金組入額合計	△215,039	△968,452	753,413
消費収入の部合計	6,490,138	5,872,742	617,396
消費支出の部合計	6,535,223	6,536,425	△1,202
当年度消費支出超過額	45,085	663,683	△618,598
前年度繰越消費支出超過額	4,212,584	3,548,901	663,683
翌年度繰越消費支出超過額	4,257,669	4,212,584	45,085

## (4) 収益事業予算書の概要

【収益事業】の項を参照。

## V. 平成25年度跡見学園収支予算について

### 1. 平成25年度収支予算書

#### (1) 資金収支予算書

平成25年 4月1日から

平成26年 3月31日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
学生生徒等納付金収入	5,498,804,000	5,497,665,000	1,139,000
授業料収入	3,934,519,000	3,934,220,000	299,000
入学金収入	486,685,000	483,380,000	3,305,000
実験実習料収入	23,978,000	24,569,000	△ 591,000
施設設備資金収入	985,690,000	987,600,000	△ 1,910,000
冷暖房費収入	67,932,000	67,896,000	36,000
手数料収入	98,650,000	102,970,000	△ 4,320,000
入学検定料収入	92,250,000	96,100,000	△ 3,850,000
証明手数料収入	2,340,000	2,070,000	270,000
大学入試センター試験実施手数料収入	4,060,000	4,800,000	△ 740,000
寄付金収入	162,980,000	162,980,000	0
特別寄付金収入	54,844,000	54,844,000	0
一般寄付金収入	108,136,000	108,136,000	0
補助金収入	723,189,000	797,943,000	△ 74,754,000
国庫補助金収入	251,000,000	341,000,000	△ 90,000,000
学術研究振興資金収入	0	300,000	△ 300,000
地方公共団体補助金収入	464,420,000	446,977,000	17,443,000
都私学財団補助金収入	7,769,000	9,666,000	△ 1,897,000
資産運用収入	40,000,000	50,000,000	△ 10,000,000
受取利息・配当金収入	40,000,000	50,000,000	△ 10,000,000
事業収入	133,016,000	134,436,000	△ 1,420,000
補助活動収入	132,826,000	133,486,000	△ 660,000
受託事業収入	190,000	950,000	△ 760,000
雑収入	125,473,000	124,358,000	1,115,000
東京都私学財団交付金収入	76,935,000	29,158,000	47,777,000
私立大学退職金財団交付金収入	41,388,000	90,160,000	△ 48,772,000
その他の雑収入	7,150,000	5,040,000	2,110,000
前受金収入	1,305,749,000	1,306,249,000	△ 500,000
授業料前受金収入	563,920,000	563,920,000	0
入学金前受金収入	490,685,000	492,585,000	△ 1,900,000
実験実習料前受金収入	7,344,000	7,344,000	0
施設設備資金前受金収入	225,125,000	223,725,000	1,400,000

冷暖房費前受金収入	13,068,000	13,068,000	0
補助活動前受金収入	5,607,000	5,607,000	0
その他の収入	112,947,000	183,821,000	△ 70,874,000
前期末未収入金収入	112,947,000	183,821,000	△ 70,874,000
資金収入調整勘定	△ 1,436,072,000	△ 1,343,815,000	△ 92,257,000
期末未収入金	△ 129,823,000	△ 112,947,000	△ 16,876,000
前期末前受金	△ 1,306,249,000	△ 1,230,868,000	△ 75,381,000
前年度繰越支払資金	6,816,459,000	7,688,405,000	△ 871,946,000
収入の部合計	13,581,195,000	14,705,012,000	△ 1,123,817,000

## 支出の部

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
人件費支出	3,641,550,000	3,613,366,000	28,184,000
教員人件費支出	2,374,397,000	2,350,937,000	23,460,000
職員人件費支出	1,087,081,000	1,078,082,000	8,999,000
役員報酬支出	35,123,000	34,921,000	202,000
退職金支出	144,949,000	149,426,000	△ 4,477,000
教育研究経費支出	1,284,967,000	1,290,092,000	△ 5,125,000
準備品費支出	814,000	1,151,000	△ 337,000
消耗品費支出	127,682,000	105,444,000	22,238,000
光熱水費支出	128,156,000	133,558,000	△ 5,402,000
通信運搬費支出	23,310,000	26,319,000	△ 3,009,000
福利費支出	24,545,000	25,289,000	△ 744,000
出版物費支出	47,015,000	49,155,000	△ 2,140,000
印刷製本費支出	51,496,000	53,118,000	△ 1,622,000
旅費交通費支出	38,799,000	41,372,000	△ 2,573,000
奨学費支出	55,754,000	67,164,000	△ 11,410,000
修繕費支出	109,940,000	67,770,000	42,170,000
保険料支出	3,350,000	3,661,000	△ 311,000
賃借料支出	58,494,000	76,384,000	△ 17,890,000
諸会費支出	9,035,000	9,668,000	△ 633,000
学生・生徒会補助金支出	3,868,000	3,848,000	20,000
広告費支出	5,736,000	5,862,000	△ 126,000
会議費支出	216,000	285,000	△ 69,000
食事費支出	8,304,000	8,989,000	△ 685,000
支払手数料支出	7,273,000	7,172,000	101,000
教育実習謝礼支出	715,000	1,050,000	△ 335,000
渉外費支出	3,159,000	3,338,000	△ 179,000
業務委託費支出	576,993,000	599,173,000	△ 22,180,000
雑費支出	313,000	322,000	△ 9,000
管理経費支出	727,309,000	794,284,000	△ 66,975,000

消耗品費支出	33,113,000	36,640,000	△ 3,527,000
光熱水費支出	22,592,000	22,202,000	390,000
通信運搬費支出	12,341,000	17,520,000	△ 5,179,000
福利費支出	9,779,000	10,255,000	△ 476,000
出版物費支出	1,573,000	1,947,000	△ 374,000
印刷製本費支出	19,214,000	22,354,000	△ 3,140,000
旅費交通費支出	13,945,000	14,522,000	△ 577,000
修繕費支出	17,701,000	15,601,000	2,100,000
施設取壊費支出	0	3,717,000	△ 3,717,000
保険料支出	1,481,000	1,481,000	0
賃借料支出	102,290,000	105,009,000	△ 2,719,000
公租公課支出	777,000	2,381,000	△ 1,604,000
諸会費支出	8,279,000	8,069,000	210,000
広告費支出	129,096,000	133,702,000	△ 4,606,000
会議費支出	1,339,000	1,883,000	△ 544,000
食事費支出	3,889,000	4,398,000	△ 509,000
支払手数料支出	14,559,000	20,245,000	△ 5,686,000
渉外費支出	5,823,000	8,273,000	△ 2,450,000
業務委託費支出	329,379,000	363,931,000	△ 34,552,000
雑費支出	139,000	154,000	△ 15,000
施設関係支出	112,000,000	754,076,000	△ 642,076,000
土地支出	0	250,000,000	△ 250,000,000
建物支出	107,170,000	501,514,000	△ 394,344,000
構築物支出	4,830,000	2,562,000	2,268,000
設備関係支出	112,337,000	292,079,000	△ 179,742,000
教育研究用機器備品支出	75,204,000	207,094,000	△ 131,890,000
その他の機器備品支出	12,420,000	62,647,000	△ 50,227,000
図書支出	23,918,000	22,338,000	1,580,000
車両支出	795,000	0	795,000
資産運用支出	800,000,000	1,100,000,000	△ 300,000,000
有価証券購入支出	0	300,000,000	△ 300,000,000
建物償却引当特定資産への繰入支出	500,000,000	500,000,000	0
法人維持特定資産への繰入支出	300,000,000	300,000,000	0
その他の支出	121,000,000	116,079,000	4,921,000
前払金支払支出	25,000,000	23,000,000	2,000,000
前期末未払金支出	96,000,000	93,079,000	2,921,000
[ 予備費 ]	50,000,000	50,000,000	0
資金支出調整勘定	△ 117,000,000	△ 121,423,000	4,423,000
期末未払金	△ 94,000,000	△ 96,000,000	2,000,000
前期末前払金	△ 23,000,000	△ 25,423,000	2,423,000
次年度繰越支払資金	6,849,032,000	6,816,459,000	32,573,000
支出の部合計	13,581,195,000	14,705,012,000	△ 1,123,817,000

## (2) 消費収支予算書

平成25年4月1日から

平成26年3月31日まで

消費収入の部

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
学生生徒等納付金	5,498,804,000	5,497,665,000	1,139,000
授業料	3,934,519,000	3,934,220,000	299,000
入学金	486,685,000	483,380,000	3,305,000
実験実習料	23,978,000	24,569,000	△ 591,000
施設設備資金	985,690,000	987,600,000	△ 1,910,000
冷暖房費	67,932,000	67,896,000	36,000
手数料	98,650,000	102,970,000	△ 4,320,000
入学検定料	92,250,000	96,100,000	△ 3,850,000
証明手数料	2,340,000	2,070,000	270,000
大学入試センター試験実施手数料	4,060,000	4,800,000	△ 740,000
寄付金	162,980,000	162,980,000	0
特別寄付金	54,844,000	54,844,000	0
一般寄付金	108,136,000	108,136,000	0
補助金	723,189,000	797,943,000	△ 74,754,000
国庫補助金	251,000,000	341,000,000	△ 90,000,000
学術研究振興資金	0	300,000	△ 300,000
地方公共団体補助金	464,420,000	446,977,000	17,443,000
都私学財団補助金	7,769,000	9,666,000	△ 1,897,000
資産運用収入	40,000,000	50,000,000	△ 10,000,000
受取利息・配当金	40,000,000	50,000,000	△ 10,000,000
事業収入	133,016,000	134,436,000	△ 1,420,000
補助活動収入	132,826,000	133,486,000	△ 660,000
受託事業収入	190,000	950,000	△ 760,000
雑収入	48,538,000	95,200,000	△ 46,662,000
私立大学退職金財団交付金	41,388,000	90,160,000	△ 48,772,000
その他の雑収入	7,150,000	5,040,000	2,110,000
帰属収入合計	6,705,177,000	6,841,194,000	△ 136,017,000
基本金組入額合計	△ 215,039,000	△ 968,452,000	753,413,000
消費収入の部合計	6,490,138,000	5,872,742,000	617,396,000

消費支出の部

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
人件費	3,646,601,000	3,613,940,000	32,661,000
教員人件費	2,374,397,000	2,350,937,000	23,460,000
職員人件費	1,087,081,000	1,078,082,000	8,999,000
役員報酬	35,123,000	34,921,000	202,000
退職給与引当金繰入額	150,000,000	150,000,000	0
教育研究経費	2,033,788,000	1,993,021,000	40,767,000

準備品費	814,000	1,151,000	△ 337,000
消耗品費	127,682,000	105,444,000	22,238,000
光熱水費	128,156,000	133,558,000	△ 5,402,000
通信運搬費	23,310,000	26,319,000	△ 3,009,000
福利費	24,545,000	25,289,000	△ 744,000
出版物費	47,015,000	49,155,000	△ 2,140,000
印刷製本費	51,496,000	53,118,000	△ 1,622,000
旅費交通費	38,799,000	41,372,000	△ 2,573,000
奨学費	55,754,000	67,164,000	△ 11,410,000
修繕費	109,940,000	67,770,000	42,170,000
保険料	3,350,000	3,661,000	△ 311,000
賃借料	58,494,000	76,384,000	△ 17,890,000
諸会費	9,035,000	9,668,000	△ 633,000
学生生徒会補助金	3,868,000	3,848,000	20,000
広告費	5,736,000	5,862,000	△ 126,000
会議費	216,000	285,000	△ 69,000
食事費	8,304,000	8,989,000	△ 685,000
支払手数料	7,273,000	7,172,000	101,000
教育実習謝礼	715,000	1,050,000	△ 335,000
渉外費	3,159,000	3,338,000	△ 179,000
業務委託費	576,993,000	599,173,000	△ 22,180,000
雑費	313,000	322,000	△ 9,000
減価償却額	748,821,000	702,929,000	45,892,000
管理経費	803,644,000	860,589,000	△ 56,945,000
消耗品費	33,113,000	36,640,000	△ 3,527,000
光熱水費	22,592,000	22,202,000	390,000
通信運搬費	12,341,000	17,520,000	△ 5,179,000
福利費	9,779,000	10,255,000	△ 476,000
出版物費	1,573,000	1,947,000	△ 374,000
印刷製本費	19,214,000	22,354,000	△ 3,140,000
旅費交通費	13,945,000	14,522,000	△ 577,000
修繕費	17,701,000	15,601,000	2,100,000
施設取壊費	0	3,717,000	△ 3,717,000
保険料	1,481,000	1,481,000	0
賃借料	102,290,000	105,009,000	△ 2,719,000
公租公課	777,000	2,381,000	△ 1,604,000
諸会費	8,279,000	8,069,000	210,000
広告費	129,096,000	133,702,000	△ 4,606,000
会議費	1,339,000	1,883,000	△ 544,000
食事費	3,889,000	4,398,000	△ 509,000
支払手数料	14,559,000	20,245,000	△ 5,686,000
渉外費	5,823,000	8,273,000	△ 2,450,000

業務委託費	329,379,000	363,931,000	△ 34,552,000
雑費	139,000	154,000	△ 15,000
減価償却額	76,335,000	66,305,000	10,030,000
資産処分差額	1,190,000	18,875,000	△ 17,685,000
建物処分差額	0	17,685,000	△ 17,685,000
教育研究用機器備品処分差額	150,000	150,000	0
その他の機器備品処分差額	40,000	40,000	0
図書処分差額	1,000,000	1,000,000	0
[ 予備費 ]	50,000,000	50,000,000	0
消費支出の部合計	6,535,223,000	6,536,425,000	△ 1,202,000
当年度消費支出超過額	45,085,000	663,683,000	△ 618,598,000
前年度繰越消費支出超過額	4,212,584,000	3,548,901,000	663,683,000
翌年度繰越消費支出超過額	4,257,669,000	4,212,584,000	45,085,000

## 平成25年度 収益事業予算書

平成25年 4月1日から  
平成26年 3月31日まで

学校法人跡見学園 収益事業部  
(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
経常収入			
商品売上収入*	6,500,000	6,500,000	0
書籍売上収入*	3,500,000	4,500,000	△ 1,000,000
生保取扱手数料	150,000	150,000	0
損保取扱手数料	550,000	800,000	△ 250,000
駐車場賃貸料収入	19,920,000	19,920,000	0
不動産賃貸料収入	3,240,000	3,220,000	20,000
雑収入	1,200,000	1,400,000	△ 200,000
経常収入計	35,060,000	36,490,000	△ 1,430,000
経常支出			
人件費	12,600,000	12,000,000	600,000
委託管理費	996,000	996,000	0
租税公課	6,000,000	6,200,000	△ 200,000
諸経費	4,000,000	3,500,000	500,000
経常支出計	23,596,000	22,696,000	900,000
経常利益	11,464,000	13,794,000	△ 2,330,000
当期純利益	11,464,000	13,794,000	△ 2,330,000

\*売上高一売上原価

可 決 承 認 日

◎平成25年度跡見学園事業計画及び収入支出予算

平成25年3月26日 第317回 評議員会  
第365回 理事会

◎平成24年度跡見学園事業実績の報告及び収支決算報告

平成25年5月21日 第366回 理事会  
第318回 評議員会

跡見学園法人事務局 総務部庶務課





跡見学園報 第56号 別冊

発行日 平成25年 7月16日

編集 跡見学園法人事務局

発行 学校法人跡見学園

〒112-8629

東京都文京区大塚一丁目5番9号

電話 03-3941-8161

FAX 03-3941-8162

URL : <http://www.atomi.ac.jp/>